
読書王女と青年剣士

緋山

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

読書王女と青年剣士

【Nコード】

N6906H

【作者名】

緋山

【あらすじ】

三つの大陸が存在する世界、三角世界^{トライテイル}。停戦状態にある三大陸間に、戦乱の嵐が吹き荒れる時、西の国の読書王女と、根無し草の青年剣士、ヴェルは出会う。二人は戦いの中で様々な人々と出会い、自分の「道」を見つけていく……剣に魔法に騎士にローテクな機械、割と何でもアリの三角世界で起こる冒険戦記。最初からレベル100の主人公と、世間ズレレベル100のヒロインが駆け抜ける日々を、ガンドコ書いていきます。

序章 悲劇の中で立ち上がる者 — k n i g h t i n t h e r a i n —

雨が降っていた。

ヨーロッパ大陸の首都パレストラは、ざあざあと降りしきる雨の中に沈んでいる。

首都というだけあって、パレストラは大きな街だ。城門をくぐって街に入ると、目の前に一本の大きな道がある。いわゆるメインストリートというヤツで、この街を初めて訪れた観光者は皆、その長大さに愕然とする事になる。

この大通りは普段、大陸中から集まった商人達が露店を構えていて、毎日が祭りのような活気に包まれている。ただでさえ総人口の多いパレストラだが、大通りの喧騒はレベルが違う。

長い長いメインストリートを歩いて行くと、街の中央にあたる噴水広場に行き当たる。

そこから、大海への玄関口である港へと続く西区への道、『王城』へと至る北区への道がそれぞれ伸びている。

とても良い街だった。

貧富の差もそれほど無く、一般市民を危険から守る存在の『騎士団』は住民からの信頼も厚く、住民には笑顔が満ち溢れている。そんな街だった。

そんなパレストラの街に、雨が降っている。

その雨は、

倒壊した建物から立ち昇る炎を沈め、

路上に転がる人々の死体から出た血液を流し、

下に人が埋もれている瓦礫を意味も無く濡らし、

壊滅したパレストラ中央区に、ざあざあと降り続いている。

「…………ツ」

雨の降りしきるパレストラ中央区で、男が一人、満身創痍の体で瓦礫にもたれかかっていた。

堀の深い顔立ちに、肩まで届く金の髪。紅^{あか}のラインが入った白銀の鎧（すでにしてボロボロだったが）を身に付け、大きな手には根元から折れた大剣が握られている。

男は全身に走る痛み^{いたみ}に顔をしかめ、荒い息を吐いていた。

その姿は、差し詰め手負いの獅子……といった所だろうか。

デフロット・カスタニエ。

それが男の名であり、その名は『緋紅^{フレン・マグナイト}の盾騎士団』——一般市民を危険から守る『騎士団』副団長のものだった。

首都パレストラに於いて、その名を知らぬ者はいない、という程の有名な人である。

「痛ッ……街で、被害が及んだのは、中央区だけなの、か……？」

パレストラ中央区は、街の中央に位置する噴水広場を中心に広がる、半径8kmの地域の事だ。デフロットの眩き通り、「壊滅している」のは中央区の一部（それでもかなりの広範囲だったが）だけで、街全体が壊滅の憂き目にあっていないわけではないようだ。

不幸中の幸い、と言うべきだろうか。

北区方面に望む『王城』は健在で、救助隊が送られて来るのも時間の問題だろう。

最も、既に失われた命は戻らないのだが……

「くそッ……フェ、ル、シオ……」

副団長デフロット率いる『フレン・マグナイト緋紅の盾騎士団』は先刻、噴水広場に
て、とある一人の反逆者と剣を交えた。

その反逆者の圧倒的な力の前に全く抵抗できずに敗北し、街の一部を破壊され、逃亡を許してしまったのだ。

「……ぜだ、フェルシオ……ッ！」

街の平和を守るべき『騎士団』に身を置きながら何も出来なかった事实に、デフロットは齒噛みする。肩は怒りと悔しさで震えていた。

だが、彼の心は怒りよりも、戸惑いがスペースの多くを占めている。

止む気配の無い雨の中、デフロットはフラつく足で立ち上がり、その顔を上げ、曇天の空を睨みつける。思い浮かべるのは、尊敬に値した、しかし今は反逆者となった男の顔。

満身創痍の獅子は天に向け、吼ほえる。

「何故だ！ 何故国を裏切った！ 何故^{なぜ}。 …… 答えろ。
… 答えろッ！ フェルシオ・ランスロードオオオオオオオオオオオオ
オオオオオオオオオッ！！！」

フェルシオ・ランスロード。

それは、デフロット達が敗北し、逃亡を許した反逆者の名であり、
得体の知れない力でこの惨状^{こうけい}を作り上げた者の名であり、

『緋紅の盾騎士団』 騎士団長の名だった。

雨が降り続く。

振り続く雨は、倒壊した建物から昇る炎を鎮め、生者死者の区別
無く、人々の体を容赦無く打ち据える。

騎士団長フェルシオの造反。

星歴1240年春、
ヨーランド大陸首都・パレストラで起きたこの事件は、数百人の
死者を出した。

これから世界で巻き起こる戦いに比べれば大した数ではないかも
しれないが、それは立派な悲劇として、パレストラ史上に刻まれる
事となる。

デフロットは険しい表情のまま、360度に広がる街の惨状を改
めて見渡す。

（…この光景を、お前が作り上げた、か。…本当に笑えないな）

これ以上の悲劇を招かないためにも、今は悲劇から立ち上がるしかない。

次に起こすべき行動は、決まっていた。

王城に住まう王族へ、事態の報告と救助隊の派遣を要請する為に、デフロットは城へと足を向ける。足取りは重く、全身を貫く痛みは半端ではない。それでも尚、彼は走り出した。

（救えなかった命に報いる為にも、救える命を無駄には出来ん）

民を守る騎士として、デフロット・カスタニエは雨の中を駆ける。

これが、とある三角世界の冒険譚が幕を開ける、少し前の話。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6906h/>

読書王女と青年剣士

2010年11月21日14時47分発行